

(様式1)

平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年4月2日	記入者		連絡先	779-1110
平成18年度部名	環境事業部	課名	北清掃工場	課長名	中村
平成19年度部名	資源循環部	課名	北清掃工場	課長名	中村
事務事業名	北清掃工場施設維持管理事業				
予算上の事務事業名	施設維持管理費 粗大ごみ処理施設				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21220		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				
施策名	第2 施策 廃棄物の適正処理の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び環境基本法関係法令ほか				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼		5 事業開始年度	▼	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
粗大ごみ処理施設等に必要な部品等の購入、施設及び機械設備の管理・保守点検等の委託を行なうことにより粗大ごみ処理施設の維持管理及び機能保全をはかり、ごみの適正な処理を行う。					北清掃工場、市民
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	粗大ごみ処理施設の維持管理に必要な、部品の購入、管理・保守点検等の委託ほかを行なった。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 49,247千円 ・需要費 22,072千円 ・委託料 27,081千円 ・その他 94千円 				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	県下の清掃工場：横浜市(5工場)、川崎市(4工場)、横須賀市(1工場)ほか				
8 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	42,308	48,469	49,248	138,922	138,922
一般財源	0	0	0	49,930	49,930
受益者負担金	42,308	48,469	49,248	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,135	2,269	2,182	1,466	1,466
事業コスト合計	44,443	50,738	51,430	140,388	140,388
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	北清掃工場施設維持管理事業			対象名称 と単位	ごみ焼却量(トン)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	44,443	50,738	51,430	140,388	140,388
対 象 数	114,103	121,458	116,110	116,890	116,890
単位あたり経費(円)	389	418	443	1,201	1,201
前 年 度 比		1.07	1.06	2.71	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	北清掃工場稼働日数（日）		指標式と指標の説明	北清掃工場稼働日数（日）	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	359.0	359.0	351.0		
目標	359.0	359.0	359.0	360.0	359.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	97.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	自主基準値遵守達成率（%）		指標式と指標の説明	ISOに基づく自主基準値（ダイオキシンほか）の遵守達成率	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		ごみ量の増加、施設の老朽化に伴い施設の保守点検の重要性が増し、経費増加につながるが、現状維持に努めたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
設備の保守点検は専門的技術・知識を有する民間会社に委託している。清掃工場の機能を維持することが重要であり、経費と成果のバランスを考慮し事業を進める。			ごみの排出量削減、再資源化などにより焼却量を減らし工場施設の負担及び環境への負担を減らす必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			